

学校の概要

1 所在

- ① 校名 上越市立浦川原中学校
- ② 学番・学校コード番号 中11 610030
- ③ 所在地 〒942-0314 新潟県上越市浦川原区顕聖寺350番地
- ④ 電話番号等 TEL 025-599-2230 FAX 025-599-3960
Email uragawar@jorne.or.jp
- ⑤ ホームページ <http://www.uragawara.jorne.ed.jp/>

2 沿革

- 昭和22年 5月 1日 **【創立】** 下保倉中学校として創立（生徒数220名）
- 昭和24年 11月 20日 **【増築】** 4教室増築
- 昭和30年 4月 1日 **【統合】** 下保倉村と安塚町の一部合併により浦川原村となる。安塚中学校の中保倉分校と月影分校が、下保倉中学校の分校となる。（生徒数552名、12学級）
- 昭和33年 4月 1日 **【校名】** 浦川原村立浦川原中学校となる。
- 昭和34年 1月 10日 **【新築】** 独立校舎新築。
- 昭和34年 4月 7日 **【統合】** 中保倉分校を閉校、本校に統合。（本校生徒数386名、月影分校生徒数90名）
- 昭和34年 12月 22日 **【新築】** 体育館新築（12間×13間）
- 昭和36年 12月 29日 **【増築】** 2教室増築
- 昭和40年 10月 14日 **【増築】** 体育館増築（23.6m×35.5m）
- 昭和41年 8月 20日 **【増築】** 給食調理室増築
- 昭和41年 11月 20日 **【新築】** 冬季寄宿舍「銀杏寮」新築（鉄筋3階建）
- 昭和41年 3月 26日 **【統合】** 月影分校を閉校、本校に統合。（生徒数526名）
- 昭和45年 10月 **【拡張】** グラウンド拡張工事開始
- 昭和47年 8月 15日 **【周年】** 創立25周年記念式典
- 昭和54年 4月 10日 **【研究】** 県教委指定教育課程共同研究。浦川原地区4小学校・中学校1校で共同研究（54～55年度の2年間）
- 昭和58年 3月 7日 **【研究】** 文部省指定研究 格技指導研究発表会
- 昭和60年 11月 15日 **【研究】** 県中教研指定研究 道徳教育研究発表会（58～60年度の3年間）
- 平成 3年 4月 1日 **【研究】** 文部省指定研究 中学校教育課程研究（3～4年度の2年間）
- 平成 5年 3月 25日 **【新築】** 体育館竣工
- 平成 6年 3月 27日 **【新築】** 校舎竣工
- 平成 6年 5月 19日 **【式典】** 竣工式
- 平成 7年 12月 1日 **【造成】** グラウンド造成竣工
- 平成 9年 11月 2日 **【周年】** 創立50周年記念式典・祝賀会
- 平成11年 4月 1日 **【研究】** 文部省指定研究 体力づくり研究（11～13年度の3年間）
- 平成13年 3月 31日 **【廃止】** 冬季寄宿舍「銀杏寮」閉寮
- 平成13年 11月 21日 **【研究】** 文部省指定研究 体育・スポーツ推進校研究発表会
- 平成15年 7月 29日 **【部活】** 県総体剣道大会で男子団体戦準優勝 北信越大会へ出場
- 平成16年 8月 27日 **【改修】** 3階各教室床塗り替え工事終了
- 平成17年 1月 1日 **【変更】** 校名変更 上越市と合併し、**上越市立浦川原中学校**となる。
- 平成19年 7月 26日 **【入替】** コンピュータ室コンピュータ入替作業
- 平成19年 11月 3日 **【周年】** 創立60周年記念式典・講演会・祝賀会
- 平成20年 7月 25日 **【部活】** 県総体 県総体剣道大会で男女とも団体・個人戦出場
- 平成20年 10月 31日 **【研究】** 県へき地・複式教育研究会上越大会授業公開
- 平成21年 4月～ **【研究】** 市教委委嘱 同和教育研究指定地区校（21～22年度の2年間）

平成 21 年 3 月 【入替】 コンピュータ室コンピュータ入替
平成 22 年 4 月～ 【研究】 県中教研指定研究 特別活動研究校（22～23 年度の 2 年間）
平成 23 年 8 月 19 日 【部活】 全国中学校陸上大会 村田 雄大 出場（走高跳）
平成 28 年 4 月～ 【研究】 市教委委嘱 同和教育研究指定地区校（28～29 年度の 2 年間）
平成 28 年 9 月 【入替】 コンピュータ室コンピュータ入替（タブレット 36 台）
平成 28 年 11 月 29 日 【研究】 文部科学省支援事業「武道等指導充実・資質向上支援事業に関わる公開授業」剣道
平成 29 年 7 月 【周年】 希望の像改修
平成 29 年 10 月 28 日 【周年】 創立 70 周年記念式典・講演会・祝賀会
令和 元年 6 月 【設置】 普通教室エアコン設置
令和 元年 11 月 6 日 【研究】 県中教研指定研究＜上越地区・数学＞授業公開
令和 3 年 4 月 【設置】 1 人 1 台端末配置（GIGA スクール構想）

3 地域の概要

当校は、上越市北東部に位置し、自然豊かな地域に建つ。東は大島区、西は三和区・頸城区、南は牧区・安塚区、北は吉川区に接している。ほくほく線の開通等、交通網の整備が進み、多方面で人的・物的な交流が増加している。それに伴い、区民の行動範囲が広域化し、生活環境も都市化の傾向を強めている。これまで旧東頸城郡内各町村と同様、過疎化に悩んでいたが、経済活動の活性化・住宅団地の造成等により、人口減少に歯止めがかかり、横ばい状態にある。

浦川原区は、早くから生涯学習の視点に立った教育施策を進め、平成 2 年度には「生涯スポーツ・健康づくり村」宣言を行い、旧浦川原村を挙げて生涯学習の普及とスポーツの振興を目指してきた。

学区は、1 小学校（平成 29 年度に 3 小学校が統合）、35 集落からなる広い地域である。遠距離通学の生徒がおり、浦川原区の中央を通る国道 253 号線の交通量増加の現状から、交通安全指導には、区を挙げて取り組んでいる。

平成 29 年に創立 70 周年を迎え、一小学校一中学校の連携した教育の推進に、区民の期待が集まっている。

4 生徒の実態

明るく素直で、何事にも落ち着いて取り組める生徒が多い。学習面では、授業に真剣に取り組み、課題をやり遂げられる。しかし、自ら進んで考えを发表或したり、積極的に他者と意見交換をしたりするなど、表現力にやや課題が見られる。生活面では、さわやかな挨拶ができ、本校の特徴の一つとなっている。しかし、人間関係づくりをやや苦手とし、対人関係で悩んでいる生徒も見られる。

平成 22 年度～平成 23 年度（2 年間）県中教研「特別活動」の研究指定を受け、「自尊感情」（自己・他者のかかわり）に着目した研究主題を設定して取り組んできた。そして、自尊感情を高めるための学級活動、学校行事の工夫等を行い、成果を得てきた。今後は、更に自己有用感の育成を図っていく。

現在、当校は学力の向上を課題として、日々の授業改善に取り組んでいる。教職員が共通理解の下、生徒の主体的・協働的な学びを重視した授業づくりを推進していく。さらに、各教育活動において話し合い・学び合いの充実と振り返り活動をとおして、人間関係づくりを進めながら、安心できる学習環境づくりを目指している。

5 保護者・地域の願い

保護者・区民の教育への関心は高く、期待も大きい。教育環境の変化に対応し、学校・家庭・地域の役割を明確にしつつ、生徒の健全育成に向けて、一層連携を深めた教育活動の推進に取り組まなければならない。保護者及び区民の願いは、生徒の①学力の向上、②社会性の育成、③たくましい気力・体力の育成、④顔の見える学校と家庭及び地域との関係づくりである。当校では、学校便りやホームページで積極的に情報を公開している。また、学期に 1 回、保護者に学校評価アンケート調査を行っている。平成 24 年度より上越市コミュニティースクールの指定を受け、学校運営協議会を年 3 回実施している。今後も保護者・地域の声をしっかりと聞き、教育活動を改善して、よりよい学校運営に努めていく。